

平成31年度計画及び第3期中期目標期間（平成28～31年度）の
中期計画の点検・評価の結果について（総括）

令和2年7月13日
大学評価専門委員会
委員長 荒 殿 誠

大学評価専門委員会では、平成31年度計画の実施状況の確認と、今後の中期計画の達成及び内部質保証の実現に向けた取組の推進に資するため、年度計画の実施主体による自己点検・評価の結果について確認した。また、平成31年度は4年目終了時評価の前年度となるため、平成28～31年度の中期計画の実施状況についても確認した。

その結果、平成31年度計画及び中期計画の全てにおいて、計画を順調に、或いは上回って実施していると評価した。

しかしながら、今後の改善に向けた課題もあるため、下記に共通的な指摘事項を記載する。

○平成31年度計画

1. 記載内容について

一部の計画では記載が十分ではなく、第三者に分かりやすい内容とは言えないものがあった。十分かつ適切な分量で記載いただきたい。ただし、冗長とならず、重要な点を押さえつつ第三者に分かりやすい内容とすることを意識していただきたい。

2. 課題の把握について

年度計画の取組の過程で判明した課題を改善することは自己点検・評価の目的の一つである。課題解決に向けて取り組み、改善が図られたのであれば、「内部質保証」の取組例として逆にアピールすることもできるため、自己点検・評価の過程では、課題を明確に把握し、できる限り記録しておくことが重要である。

3. 添付資料について

根拠資料は概ね適切に添付されていたが、一部の計画では、本文と資料の対応が不明確なものや、必要な資料が添付されていないものが見られた。年度計画の実施状況を具体的に示すためにも必要な根拠資料を適切に添付いただきたい。また、第3期中期目標期間終了時評価時の根拠資料として活用できるよう、平成29年2月29日付通知「第3期法人評価期間における根拠資料等の収集について」に基づき整理した根拠資料及びデータの継続的な収集及び蓄積が望まれる。

○中期計画（平成28～31年度）

1. 記載内容について

一部の計画では冗長な記載、または説明不足のために第三者には分かりにくい記載となっていた。十分かつ適切な分量で記載しつつも冗長にならず重要な点を押さえ、第三者に分かりやすい内容とすることを意識していただきたい。特に、本学独自の取組や制度については、それがどのようなものであるかの簡潔な説明を補足することが望ましい。

2. 添付資料について（教育、研究、社会連携、グローバル化に関する計画）

根拠資料は概ね適切に添付されていたが、一部の計画では、本文と資料の対応が不明確なものや、必要な資料が添付されていないものが見られた。中期計画の実施状況を具体的に示すためにも必要な根拠資料を適切に添付いただきたい。

3. 数値目標のある中期計画について（中期計画1、5、18、24、39、41）

該当する中期計画についてはほぼ順調に増加しており、既に目標を達成している計画も見られた。既に目標を達成している場合は、現状の維持あるいは更なる伸長に努めていただきたい。一方で、目標の達成に対して停滞あるいは遅れが生じている場合は、原因と対応策を早急に検討し、目標達成に向けた取組を加速していただきたい。

以上